

# 令和4年度随時監査（第1回工事監査）結果

1 監査日 令和4年10月12日及び10月13日

2 対象とした  
事項及び範囲 令和4年度 工事の実施状況について

3 対象工事名 たきまち棚田災害復旧工事  
【担当課：農務課】

## 4 着眼点

工事の執行状況について、下記を主眼として監査を実施した。

- ・事業目的、法令等に適合した設計となっているか
- ・仕様書、図面及び設計図書は的確に作成されているか
- ・積算基準、積算資料等の整備状況及びその運用は適切に行われているか
- ・契約の方法などが適正か
- ・法令等を遵守して施工されているか

## 5 監査の方法

工事監査は、技術的観点からの専門知識を必要とするため、公益社団法人大阪技術振興協会に工事技術に関する調査を委託した。技術士による工事技術調査業務委託報告書は別添のとおりである。

## 6 監査結果

監査対象工事にかかる計画・設計・積算・契約・施工・監理等については、適正かつ効率的に執行されているものと認めた。

高 山 市

令和 4 年度

## 工事技術調査結果報告書

令和 4 年 10 月 28 日

公益社団法人 大阪技術振興協会

技術士(建設部門) 土取 忠雄

調査実施日 : 令和 4 年 10 月 12 日(水)・13 日(木)

調査場所 : 高山市役所 監査委員事務局会議室  
及び当該工事現場

調査対象課 : 農政部農務課

監査執行者 : 代表監査委員 笠原 旦彦  
監査委員 日野 寿美子  
監査委員 渡辺 甚一

調査立会者 : 会計管理者 北村 鋭  
契約管財課契約検査係主査 松山 敦  
契約管財課契約検査係主査 野村 康幸

事務局 : 監査委員事務局長 森下 澄雄  
監査委員事務局書記 山下 由里子  
監査委員事務局書記 青豆 真梨子

## 調査対象工事： たきまち棚田災害復旧工事

### 1 工事担当部・課 内容説明者

当該工事技術調査内容説明者〔※〕

農政部長	林 篤志	
農務課 課長	水橋 靖	(総括監督員)
農務課 主幹	農業土木係長 北村達也	(主任監督員) ※
農務課 主査	農業土木係 今井厚介	(専任監督員) ※

大山土木株式会社

(現場代理人兼主任技術者)

### 2 工事概要

#### (1) 工事場所

高山市滝町地内

#### (2) 事業の背景及び工事内容

令和2年7月3日から13日の集中降雨により被災した、滝町地区の農地及び農業施設を復旧するものである。また、当該棚田は農山村景観として滝町根方景観重点区域に指定されており、景観に配慮した設計・施工を要求されている。

<参考：最大日雨量 309mm/24hr、最大時間雨量 48mm/hr を観測している>

主な工事：(ア) 土工 一式

(イ) 法面工 A=843 m<sup>2</sup>(103-2 たきまち棚田 589 m<sup>2</sup>、3-10 滝町 20 号線 254 m<sup>2</sup>)

(ウ) カゴ枠工 L=833m(3-6 農地保全施設 756m、3-1 滝町 11 号線②62m、3-9 滝町 20 号線②15m)

(エ) 大型カゴ枠工 L=334m(3-6 農地保全施設 166m、3-1 滝町 11 号線①47m、3-7 たきまち棚田線①121m)、

(オ) ジオテキスタイル 一式

#### (3) 工事実施設計業務受託者 (測量設計業務)

住 所 岐阜県高山市上岡本町 7 丁目 395 番地

氏 名 株式会社 ユニオン高山営業所

営業所長

発注形式 随意契約

契約日 令和2年7月17日

契約工期 令和2年7月17日～令和2年12月28日

契約金額 17,600,000 円 (消費税込み)

※ 当初設計額 17,894,800 円に対する請負率 98.35 %

設計変更による追加額 16,596,800 円 増加率 94.3 % (約 2 倍)

(4) 工事費

当初設計額 136,035,900 円 (消費税込み)

当初請負額 129,233,500 円 (消費税込み)

請負率 (当初) 94.99 %

(5) 補助金の有無

国費 (農地)95.1 % (農業施設)98.9 % 県費 0 %

受益者負担 (農地:補助残額の 20/50、施設:補助残額の 10/35)

市単独費 (農地:補助残額の 30/50、施設:補助残額の 25/35)

(6) 契約工期

契約日 令和 3 年 10 月 26 日

契約工期 令和 4 年 3 月 18 日～令和 5 年 3 月 17 日

契約工期の設定は、特記仕様書 16 条の規定に基づき令和 3 年 10 月 26 日に請負業者からの工事開始日通知書の提出によりフレックス工期を採用している

(現行の予算は、地方自治法第 213 条の規定に基づく繰越手続きを行っている)

(7) 工事請負業者

住 所 岐阜県高山市上岡本町 3 丁目 410 番地

氏 名 大山土木株式会社

代表取締役

(8) 入札経緯

発注形式 指名競争入札

令和 3 年 10 月 20 日入札執行

入札業者数 10 者 (3 者辞退)

入札回数 1 回

入札時点での質疑書の提出は無かった

(9) 現場代理人・主任技術者

(現場代理人兼主任技術者)

(10) 工事監理

直 営

### 3 調査所見

工事監査(技術調査)事前質問予定書による回答・提示された書類及び現場を確認し、疑問点は関係者に質問をすると共に、各段階における事務的・技術的事項について調査した。書類調査、現地調査において、概ね良好であり、特に発注者・受注者ともに書類の整理・整頓・保管は丁寧に行われており、スムーズな調査が実施できた。

個々の調査結果について気付いた点は、各項目の所見で記述しているので確認して対応されたい。

### 3-1 測量設計業務委託及び実施設計・積算に関する書類について

#### (1) 測量設計に関する書類

##### 【測量設計業務委託の方針と実施設計の内容】

令和2年7月の被災後、速やかに農地・農業用施設災害の復旧に必要な測量設計業務が発注され受注者として株式会社ユニオンが選定された。契約方式は一者の随意契約である。

本件の委託業務については、地方自治法施行令第167条の2第1項第5号(緊急の必要により競争入札に付することができないとき)に基づき一般社団法人岐阜県測量設計業協会飛騨地区協議会と締結した「災害時における被害状況の応援協力に関する協定」を根拠として契約したものであり、契約金額の算定及び契約方法、更には設計変更時における手続きについては、特に問題はなく適正に実施されている。

次に、設計変更により約2倍に近い増額が実施されており、本来なら別途契約であるべきところを災害時の緊急性からの判断であり止むを得ないことを確認した。

測量設計の内容としては、業務委託発注仕様書及び農地・農業用施設の災害復旧の基準、指針に基づいて適正に実施設計が行われたものと判断する。

##### 【計画、調査、実施設計に適用した基準書・指針】

図書名称	著者	発行年
測量作業共通仕様書	岐阜県	令和2年8月
岐阜県土地改良公共測量作業規定	岐阜県	平成28年8月
土質・地質調査共通仕様書	岐阜県	令和2年8月
設計業務委託共通仕様書	岐阜県	令和2年8月
農業農村整備事業計画設計基準の手引き	岐阜県	令和2年4月
土地改良事業計画設計基準計画「農道」	農林水産省農村振興局	平成17年3月
農地・農業用施設・海岸等災害復旧の復旧工法	全国農村振興技術連盟	平成26年9月
ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル第二回改訂版	ジオテキスタイル補強土工法普及委員会・(一)土木研究センター	平成25年12月
	(一)は一般財団法人の略	

##### 【単価、歩掛、積算、設計書作成に適用した基準書・指針】

図書名称	著者	発行年
積算基準及び歩掛表(共通編)	岐阜県	令和3年度版
積算基準及び歩掛表(土地改良編)	岐阜県	令和3年度版

令和3年度実施設計書に使用する単価表	岐阜県	令和3年7月
土木コスト情報	(一)建設物価調査会	令和3年7月
土木施工単価	(一)経済調査会	令和3年7月
月間建設物価	(一)建設物価調査会	令和3年7月
月間積算資料	(一)経済調査会	令和3年7月
	(一)は一般財団法人の略	

## (2) 設計図

設計図に関しては、設計基準及び指針に基づく適正な設計であり、工種比較検討などもわかりやすく丁寧な表現に努め適切に作成されていた。

## (3) 関係機関との協議

災害復旧計画について東海農政局と関係機関協議を行っていた。

## (4) 工事積算

「積算基準及び歩掛表(共通編)及び積算基準及び歩掛表(土地改良編)」、「令和3年度実施設計書に使用する単価表」、「建設物価調査会」他により算出されていた。労務・資材単価表に無いものについては、部の見積指針により、3者の見積もりを徴収し、その最低価格を採用しており、いずれも適正に価格を決定していることを確認した。

工事設計書の照査については、担当主査により、チェックリストに基づき適正に照査を行いチェック履歴として保存されていた。

工事発注にあたっては、受注予定者は積算図書に加え特記仕様書の要求事項が大変積算に大きく影響を与えるが、特記仕様書ではコロナ対策、下請け契約及び使用資材(地産・地消)、フレックス工期等の注意点を明示しており適切な対応である。

## 3-2 工事契約に関する書類について

- (1) 地方自治法等による確実な履行を担保するための金銭的保証制度として、高山市契約規則及び高山市公共工事標準請負契約約款に基づき、履行保証制度の活用が図られており、契約保証金にかわる履行保証は適正に実施されていた。

12,923,350 円

東日本建設業保証株式会社

請負金額の 10 %

前金払いについては、高山市前金払事務取扱要綱に基づき、適正に実施されていた。

前払保証金額

51,690,000 円

東日本建設業保証株式会社

請負金額の 40%以内

## (2) 入札状況について

通常1千万円以上の工事は一般競争入札方式で行われるが、災害時の緊急性に鑑み「高山市契約規則第26条から第29条」に基づき指名競争入札として適正に執行されていた。

## (3) 契約関係書類

公共工事標準請負契約約款に基づき適正に作成されていた。

(4) 現場代理人及び関係下請等届

現場代理人・主任技術者届は、入札後(令和3年10月26日)に特記仕様書に基づくフレックス工期の届け出を受け、工事工期を令和4年3月18日～令和5年3月17日として設定された。その後、工事開始後の令和4年3月22日に提出されていた。

(工事開始日は令和4年3月18日)

各資格要件は満足しており、経験年数も十分であった。また、下請負届(1業者)も契約後速やかに下請け業者との契約がなされ、その後に提出されており、それらは適正に作成整備されていた。

(5) 建設業退職金共済制度の共済証紙などの書類

建設業退職金共済制度の共済証紙の購入について、工事請負契約後に証紙の購入を行い、現場従事者に対し証紙配給及び管理が適正であることを確認した。

(6) 工事保険などの書類

本工事については、工事請負契約後に請負業者により賠償責任保険契約として、保険金額1事故5億円(年間賦課金2,231,880円)の工事保険に全国建設業協同組合連合会と保険契約を締結している。

### 3-3 施工に関する書類について

(1) 受注者からの提出書類は、整理され施工中の段階においても、分かりやすく整理・整頓・保管されていた。

受注者が関係諸官庁へ提出を必要とする主な届け出書類としては、工事に伴う道路使用について高山市道路管理者及び高山警察であるが、「現段階での道路使用は生じていないので今後明確な道路使用が発生した場合には所定の手続きを取る」との事を確認した。

(2) 工事カルテ

工事カルテの作成と(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)のCORINS(工事实績情報サービス)登録は、規定どおりに行われていた。

(3) 施工体制台帳・施工体系図

施工体制台帳・施工体系図は、監督員に対象工種の着手前(令和4年3月22日)に提出され、整備・保管されていた。

(4) 工事工程管理

実施工程表(バーチャート)が作成提出され整備されていた。毎月の「工事打合せ」により工事工程の進捗状況を報告させ、過度の前倒し進捗はあるものの工事工程の管理は適正であった。当初工事工程作成段階で計画工程と実施工程に大きな差異が生じないような工程表作成に努められたい。【意見】

工事進捗に伴う出来高の管理、工事工程の管理等、工事遅延や工事前倒し進捗を含めて対象工程のチェック面から見て、工事ネットワークによる工事工程の管理が望ましいと思われる。

#### (5) 施工計画書

施工計画書の主な内容は以下の通りであり、工事着手前に提出され監督員により承認され、適正に整備、保管されていた。

- ・工事概要、実施工程表、現場組織表
- ・使用指定機械、主要資材、施工方法
- ・施工管理、安全管理、交通管理、環境管理
- ・緊急時の体制及び対応

※ 現場の仮設工事は「任意仮設の為使用機械の変更が生じても設計変更はしない」との方針を確認したが、現場ではトラッククレーンの使用に替わっており、施工計画書では実際に工事現場で使用する機械等の変更内容を反映させ、仮設工事であっても適切な施工方法であることを確認する必要があると判断する。【意見】

#### (6) 環境への配慮事項

環境への配慮事項は以下の通りであり、適切な計画と実施を確認した。

- ・高山市景観計画に基づき面的景観として農山村景観の重点的に良好な景観づくりを推進する区域としてたきまち棚田を指定しているので実施設計や工事施工において景観に配慮した対応となっている。
- ・高山市の景観保護に対する方針が受注者において施工計画に反映され、現場代理人等にその重要性が認識されるような指導を望む。
- ・建設廃棄物の運搬経路、搬出先の明示を行い承認されていた。

#### (7) 工事材料関係の書類

使用する材料について、購入品リスト、品質規格等を事前に確認し、その報告書を工事着手前の令和4年4月7日に提出させ、監督員により確認し適正に整理保管されていた。

#### (8) 品質管理

品質管理において、特記仕様書に従い、請負業者の実施した品質管理チェックシートに基づき以下の材料が適正な品質であることを監督員により確認し、整理保管されていた。

- ・主要資材として、大型カゴ枠、鋼製カゴ枠、ジオテキスタイル、植生シート、カゴ枠石詰め材（割栗石、再生砕石）、層厚管理材、吸出し防止材等

### 3-4 建設廃棄物処理に関する書類

建設廃棄物の処理計画は、「施工計画書」において適正に計画され、監督員の承諾がなされていた。また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」などを遵守した再資源利用計画書等も施工計画書の中で作成されていた。

排出事業者である受注者と中間処理業者または最終処分業者、受注者と収集運搬業者で取り交わす建設廃棄物処理委託契約書は、電子化され搬出ごとにデータ保管し、現在整理中であり、適正であった。

### 3-5 安全に関する書類等について

安全管理のための組織図の作製、予想される現場の事故に対する防止対策として、社内及び現場でのTBMの励行、KYTの推進安全管理活動など施工計画書等に基づき実施されていた。

現場事故等における緊急連絡体制表に加え、工事・業務関係者に対してワンデーレスポンス及び建設作業員の安全教育、建設機械等の安全マニュアル(色別)等の実施状況は良好であり関係書類は適切に保管されていた。

新型コロナウイルスの感染者対策については、高山市の特記仕様書に明記されているにも関わらず施工計画書には適切な記述は無かった。今後において、特記仕様に対応した施工計画書であることを望む。

#### 4 現場施工状況調査における所見

(1)本工事は、計画出来高 33.5%に対して実施出来高 62.0%の段階であった。

現場の状況から判断すると予定工事進捗より相当前倒した工事工程となっている。工事工程が大きく進捗した要因としては好天が続いたこと及び工程進捗の出来高が上昇する工種(ジオテキスタイル工法)を先行整備したとの説明であった。

工事工程が大きく進捗したことは望ましいことではあるが、適切な工事工程管理の面からみれば、計画工程と実施工程が当初計画に比較して大きく差異のない工程策定が望まれる。

(2)工事現場の掲示物として、建設業法、労働安全衛生法、入札契約適正化法等で要求されている告知すべき書類は、すべて掲示されていることを確認した。

(3)安全設備としては、第3者に対する進入防止対策として工事用安全柵(保安ロープ)設置されていることを確認した。

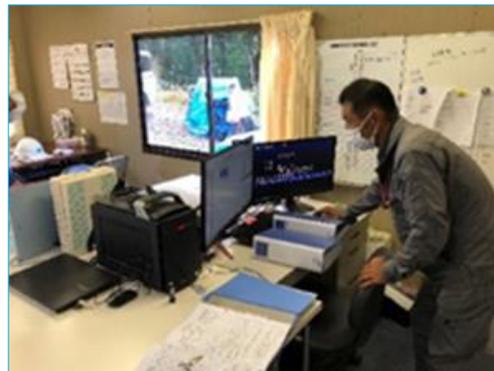
(4)現場事務所は、仮設トイレ、救急救命具のAEDや消火器が設置されており、作業ヤードの状況を含め整理・整頓が行き届いていた。

特に特記仕様書第5条による現場管理としてワンデーレスポンスの実施記録を確認した。

更に、工事写真・出来高管理・現場従事者の管理・建設機械のチェックリスト等すべて電子データにより適切に保管されていることも確認した。



工事現場に必要な告知看板



現場事務所でのデータ管理状況

## 5 技術調査全般

測量設計業務発注段階での災害復旧の緊急性により、「災害時における被害状況の応援協力に関する協定」を根拠に1者随意契約としている点は、やむを得ないと判断します。

設計業務委託の実施設計段階では、発注機関とよく調整し設計上多くの調整を進め発注者の意図するところに適切に応え、景観的に優れ安全で利便性の高い設計に努め、分かり易く表現された設計図が提出されていたことを評価したい。

工事発注前の積算・入札段階では、積算技術基準及び単価表等に基づき積算され、単価表に計上されていない単価の採用に当たっては、適切に見積書を徴収し単価の決定をしていた。入札執行においては、手続き上に問題はなく、地方自治法の規定に基づく工事予算の繰越手続きを行っていた。

工事の進捗は、令和4年9月末段階で計画出来高約33.5%に対して実施出来高としては工事調査当日の出来高は62.0%近くに至っており、工事工程の前倒しがあると思われる。現段階での工事の出来映えは丁寧に美しく仕上げている。

残工事も、比較的手間の掛かる工事と全体の出来映えに影響する重要な工事であるので、引き続き丁寧な施工に心掛け、良好な品質の仕上がりを目指し工期内無事故無災害竣工となることを期待するものである。



施行中の状況(大型カゴ枠工・ジオテキスタイル)



完成部分の状況(カゴ枠工・大型カゴ枠工)

以上

今回の技術調査において【指摘】【指導】の事項はなかった  
今後の事務処理の参考として【意見】を述べた